

教材事例書式

<p>教材教具名 水中めがね（パネルシアター）</p>	<p>教科（遊び学習） 設定遊び</p>	
<p>教材教具写真</p>		
<p>教材教具の概略（ねらいと使い方） 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水遊びをすることを知り、期待感を持つ。 ・教師と遊ぶことを楽しんだり、友達が遊んでいる様子を見て自分もやってみたいという気持ちを持つ。 <p>2 発達段階</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年の設定遊びに使用。発達段階のちがう児童が興味関心を持てるよう操作性のある物や言葉かけ。 <p>3 使い方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、「水中めがね」の歌に合わせて、教師がパネルを操作したり、身ぶりをつけて歌ったりするのを見聞きする。 2、自分の顔写真カードを提示されたら前に出て、顔写真カードを貼り次に「たこ・サメ・いか」をパネルに貼る。 3、模倣したり、踊ったりする。 		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・パネルシアターを活動の前に入れることで、これからある遊びをすぐに理解し、どんな遊びがあるか期待をもっている児童が多かった。 ・音楽の授業で繰り返し取り組んできた曲でもあり、身ぶりの模倣をしたり、パネルの操作を楽しんだりすることができた。また、友達の活動もよく見ていた。 ・大きいパネルを使用することで、児童の顔写真カードをすべて並べて提示することができ、友達を意識することができると思われる。 		